



大町市大町3887番地  
 大町市土地改良区  
 越荒沢堰水系地域用水対策協議会  
 TEL 0261(22)5542  
 FAX 0261(23)0766

# 総合的な学習

〜チャレンジング米づくり〜

平成十八年度においても市内の各小学校に対し、用水の大切さを理解してもらうために行う社会科授業への取り組みを依頼したところ、大町西小学校五年生(二クラス)から、米づくりを通じて用水について学びたいと要望がありました。



足踏み式脱穀機

いつもは流れているのがあたり前のように感じている用水が、実は大切な地域の財産であること、そして、これから皆で守ってほしいということを理解してもらえよう、水土里ネットの職員が餅米栽培のお手伝いをしました。

例年通り種まきから代掻き、田植えなどを手作業で行い、作業の手順などを指導するのに合わせて、用水路の役割、大切さについて学んでもらいました。今年は先生の教育方針から、なるべく近代的な機械を使わず全て手作業で行い、特に脱穀は昔ながらの足踏み式の脱穀機を使用し、舂摺りにはすり鉢とボールを、精米には一升瓶と棒を使用するなど、最近では見かけることがなくなりましたが、大変苦労がかかる方法で一生懸命取り組んでくれました。次世代を担う子どもたちにとって、たとえ家が農家であっても、たとえ家

の周りに水田があっても、近代的な機械作業によりあつという間に終わって行く現在の方法では、米づくりの苦労や水の大切さ、用水路の大きな役割には気づかないのかもしれない。今年のように全て手作業で行う米づくりは、大変だからこそ普段気がつかないことに目が向けられ、地域用水の大切さについて深い理解を得ることができ、大人になってもきつと用水路を皆で大切にして行ってくれるだろうと確信しました。

## 第7回 ふれあいイベント

### 【土・人・水】

七回目を迎えたふれあいイベントは、晴天の日差しが照りつける中、八月十九日(土)に一〇七名の参加者により、恒例になった越荒沢堰周辺の雑草取りに汗を流し、作業終了後は子どもを対象とした魚つかみを親水池で行いました。

以前、参加者の皆さんにお願いしたアンケートでは、実施時期について真夏は避けてほしいという意見もあり、各地区の恒例行事と重複しない、比較的天候も安定する限られた選択肢の中で検討しましたが、真夏で作業は大変とは思われますが、毎年お盆明けの週末を恒例とすることで、少しずつ輪を

広げようということとなり、本年も引き続き同時期に開催することとなりました。

参加者は回数を重ねる毎に、少しずつ増えてきており、特に子どももの魚つかみは好評で、地区児童会単位での申込みもあり、徐々に定着しつつあります。

また、今年初めての試みとして、魚つかみは小さな子どもも参加できるように安全な親水池でおこない、終了後は、魚影が見れる用水路となる事を願って、越荒沢堰本川にイワナ、マスを放流しました。

今後も大勢の人に参加していただき、用水路に接しながら、大切な財産として皆で守っていくという意識が生まれることを望んでいます。



たくさんの子どもが参加した魚つかみ



# 猫鼻(越荒沢堰)

## 親水公園が完成しました

平成十年度より長野県が事業主体となり取り組んできた、県営農業用水再編対策事業(地域用水機能増進型)越荒沢堰地区に、親水公園が完成しました。

この施設は事業の中で、普段はあまり関心を持たずに、当たり前前に利用している用水路の大切さを再認識してほしいという考えから、鹿島川の取水口からわずかな距離に、用水路改修に併せて親水池とその脇に四阿(あずまや)



を備えた公園を作ったものです。

現地には、平成十二年から当協議会が主催するふれあいイベント「土・人・水」を行う際に、毎年少しずつ用水路沿いの雑草取りや山野草を植えたり、せせらぎ水路を作ったり、机やベンチを作ったりと、誰もが気軽に訪れることができ家族連れで親水浴を楽しんだり、自治会・公民館活動の場所として利用したりできる公園を整備してきました。

また、地域用水機能増進事業の中で、公園近くには事業概要図と、先人が苦勞して鹿島川から取水する水を守ってきた様子がうかがえる猫塚や歴史の案内が設置されており、近くを一時間ほど散歩するだけで、十分な親水浴を楽しみながら用水の大切さに気づくスペースとなっております。

さらに、四阿にはこのほど丸太テーブルとベンチが据えられ、そこでお弁当を広げたり、お茶を飲んだりできるようにになりましたので、是非一度立ち寄り、自然の素晴らしさを体感してください。

## 施設の利用にあたり

施設を利用するにあたっては、届出の必要はありません。しかし、フリースペースを利用する最低限の心得として、利用する前よりきれいにして帰るといふ意識をお持ちください。のちのち桜の名所として、大勢の皆さんに訪れていただける施設となるようにご協力ください。



テーブルとベンチを据え付けました

## 水位監視装置設置

地域用水機能増進事業の取り組みで、平成十七・十八年度事業費の一部を使い、越荒沢堰取水直下流に水位監視装置を設置しました。

この施設は、大田市土地改良区の仕事所で常に取水量を把握できるように整備したもので、これによって管内に

ある数十箇所の取水施設の内、一級河川から直接取水する幹線用水路である越荒沢堰の水利用を助け、状況に応じた取水管理がより敏速に行える様になりました。



設置された水位監視装置

### 平成18年度事業報告

項目	内容	事業費
地域用水機能増進計画策定	・シミュレーション業務	693,000
地域用水機能増進支援活動	・イベント開催 ・子ども絵画展	1,669,575
地域用水機能増進活動	・水位計メンテナンス	124,425
情報整備 施設整備	・水位監視装置設置 ・簡易ゲート設置	2,373,000
合	計	4,860,000

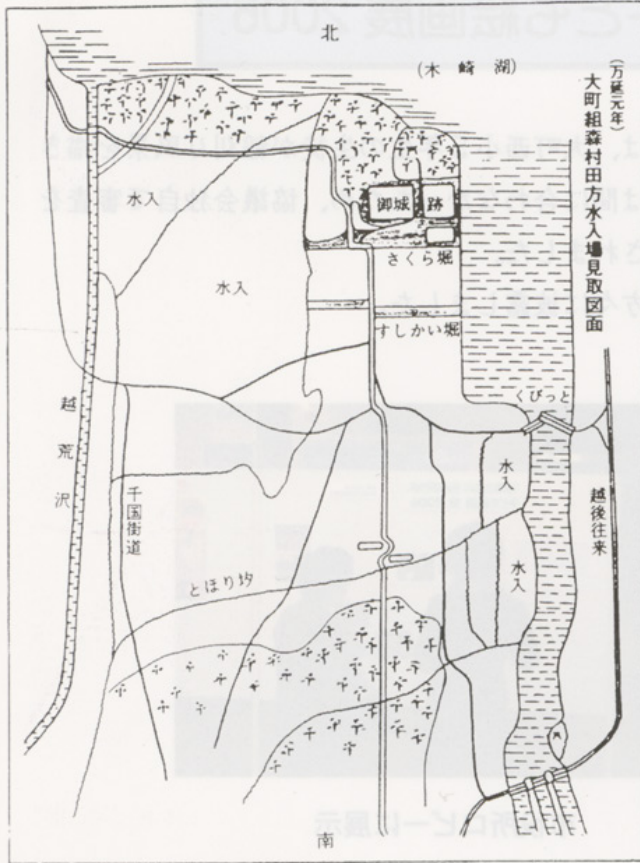


# 一枚の森城絵図と越荒沢用水の役割

ここに『万延元年森村田方入見取図』と題した一枚の絵図が、あります。この絵図は、今から一五〇年ほど前の江戸時代末、万延元年（一八六〇）旧暦五月、大雨によって木崎湖（当時は海ノ口池といった）から水が溢れ出し、森村周辺が水浸しになったときの様子を示したもので、その当時、庄屋を勤めていた家に伝来したものです。この絵図は、私たちにいくつかの事実を教えてくださいます。

まず、この当時「越荒沢」と呼ばれていたのは、現在の「森堰」であって、その役割は、鹿島川の冷たい水を木崎

湖へ導水し、木崎湖で温めて農具川へ温水を供給することにあつたことが、わかります。木崎湖南端の「くびつと」は、木崎湖から農具川が流出する位置を示しており、毎年旧暦三月には、下流村々は協力して聖牛を並べて蛇籠を臥せ、水を堰き止めて木崎湖の水位を上げていました。こうして貯えられた水は、さらに下流の「三間橋」のところに設けられた三口の水門から、下流村々の耕作の進行状況に合わせて分水され、田畑のかんがい利用されていきました。橋のためには水神様が祭られており、現在も橋からやや下流の位



置には、「仁科三十三番札所」の一つである三橋堂が残されています。

こうした木崎湖の水位調整は、中世には、現在の森集落から仁科神社にかけて存在した森城の防御にも使われていました。木崎湖の水位が上がると森城は「浮城」になるといわれていました。偶然の大雨によって、それが実証されたのです。「水入」と表示されているのは、このときの浸水個所を示しており、城の西側一帯に広がっています。

また、現在の平公民館から森集落へ向かう道の途中には、道を挟んで互い違いに向かい合う一組の細長い楕円が描かれています。これは、森城へ向かう大手に設けられていた土塁の跡と考えられ、この頃まで残されていました。古くは、この上に城門や櫓などが設けられていたかも知れません。

越荒沢が、いつの時代に開鑿されたのか、確かなことは、わかりません。元来は、猫鼻地籍で鹿島川から南東方向に向かつて自然流出していた支流の一つであつたものと思われまます。それを二ツ屋地籍で、大町など下流で飲用や生活に用いる用水と木崎湖に向かう流れに分水し整備したもので、大きな労働力を要したことから中世のある時期（室町時代初め頃か）、この地方の支配者であつた仁科氏の主導によって開鑿されたことが、想像されます。小熊山の山麓をゆるやかな等高線に沿つ

てぐるつと迂回させ、木崎湖を天然の温水溜め池として活用しており、着想の独創性と技術レベルの高さは、現代でも注目されるものがあります。



三間橋下流にある三口水門の跡

## 第8回ふれあいイベント「土・人・水」 参加者募集

- ◆日時：H19.8.25(土) AM9:00~12:00
- ◆場所：平小熊原 猫鼻親水池
- ◆内容：周辺の雑草取りと魚つかみ捕り
- ◆昼食：おにぎりとお茶を用意します

参加申し込みは下記まで

大町市土地改良区 22-5542

E-mail midori-net.omachi@ceres.ocn.ne.jp



# 「ふるさとの田んぼと水」子ども絵画展 2006

平成15年度より取り組んで以来4回目となる子ども絵画展は、大町西小5年生の生徒が稲刈り風景を描きたいという希望があり、全国水土里ネット主催のコンテストには間に合わなかったため、協議会独自で審査を行い、協議会総会の席上で牛越会長より表彰状と記念品が贈呈されました。

また、応募があった全作品を市役所ロビーに展示し、多くの方々に披露しました。  
受賞作品は次のとおりです。(敬称略)



牛越会長より表彰状授与



市役所ロビーに展示

## 会長賞

大きく育ったお米たち

長澤 遼  
(大町西小5年2組)



## 理事長賞

秋の稲刈り

古平純也  
(大町西小5年1組)



## 努力賞



がんばった稲刈  
二条由起子  
(大町西小5年2組)

## 努力賞



がんばった稲刈  
小山恵介  
(大町西小5年1組)

## 努力賞



大変だけど楽しいはげかけ  
倉科杏子  
(大町西小5年1組)